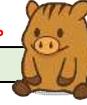


## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、写真データと共にメール送信で提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	ウィーン経済大学
留学先での所属学部・研究科:	international business
留学先での在籍身分:	exchange student
留学期間:	6か月半
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日・オンライン授業終了日:	帰国日:3/20                      オンライン授業終了日:6/25
本報告書記入日:	2020/8/21

## 1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	2月 7日	
	学年終了月日:	1月 31日	
	学期:	①	10月 1日～ 1月 31日
		②	3月 2日～ 6月 28日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	特徴としては、授業が基本的に少人数制で、グループワークやディスカッションが重視されていた。また、computer scienceが関連するような授業もいくつか開講されていた。現地学生は不明だが、留学生にはmarketing関連の授業が人気だった。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	事前に、パディというパートナーを用意してくれていた。パディは大学について教えてくれたり、空港への送り迎え等、慣れるまでのサポートをしてくれた。	
	語学面でのサポート:	申し込めば、タンデムという言語交換のパートナーとマッチングさせてくれる。	
	勉強面でのサポート:	特になし	
	精神面でのサポート:	不明	
	住居・生活面でのサポート:	住居に関しては、大学がお勧めの運営団体の紹介などを案内してくれる。生活面かはわからないが、ビザ申請の際にはinternational officeがサポートしてくれた。	
課外活動のサポート:	erasmusuという団体が色々な企画を出していた		
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい	

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含ま自由に記入してください。(気を付けること等)	私はGassgasseというところに住んでいて、綺麗さも立地も申し分なかったと思う。ただ二点①衛生面(ごみの処理等)と②生活リズム(物音)に関して、ルームメイトといざこざが発生したことがあった。なので、そういったことに関してはあらかじめ取り決めをしておいたり、絶対に譲れないものがあるなら高くても一人部屋を選んだり、友人とおなじ部屋をとるなどすることをお勧めします…!
-----	--------------------------------------	--

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	学校も家もfree-wifiなので、少ないGB数でも全然問題はなかったsupusという会社がとてもやすかったと思う(ただしドイツ語オンリーのサイトなので、パディに手伝ってもらうことをお勧めします…!)
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	接続可能・無料
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	接続可能・無料
3-2	医療について	WGKKという保険に加入した。
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	一度虫歯で歯医者に行ったら保険適応で返ってくる額を差し引いても1万3千円ほどかかった。(返金前で確か二万弱)他は特に問題はなかったが、FSMEというダニ脳炎のワクチンを打った。値段は覚えていないが、数千円程度。日本では稀でも欧州ではよくあるようでとても安いので受けておいてもいいのかなと思う。
3-3	銀行口座等について	erste bankで学生口座を開設した。(なんとキャッシュカードに国際学生証がついてきます!!)
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	ビザにも必要なので、入国後比較的すぐに口座を開設し、トランスファーワイズで送金してもらった。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	業務スーパージャパンドリーム財団
	支給額(円/月):	150,000
	その他(渡航費等の支給):	渡航費なし・緊急帰国に基づく差額精算あり
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	140万程度
	航空運賃:	21万円
	住居費:	(月額) 7万円 × (留学月数) 10 ヵ月 = 70万円(*満額負担)
	食費:	(月額) 4万円 × (留学月数) 7ヵ月 = 28万円
	保険料:	7万円
	その他:	14万円
	合計(留学期間全体の費用):	140万円

5. 異文化体験について	
留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	人を皮肉って笑いをとる文化はあると思う。チップ文化なので外食時などにチップを払う必要がある。
大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	スーパーや服屋さんであった人やスーパーの店員さんなどに話しかけられてしゃべることはあった、という程度。
課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していません。
留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	ちょっと嫌味な笑い方や揶揄い方をされたことはあったが、基本的にはすごくいい街だと思う。スーパーの人はあまり英語を話してくれなくとも身振り手振りで意思疎通しようとしてくれたり、レジで隣に並んでいたおじさんが“good luck for you”とって伝統的なお菓子をくれたりした。また、ものを落としたりひろって追いかけてくれたり、すごく優しい人がおおかつたし、治安のよい街だったと思う。

6. 就職活動について	
6-1 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	していません。

7. アドバイス、振り返り	
7-1 現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	①在オーストリア日本大使館のHP: <a href="https://www.at.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html">https://www.at.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html</a> ②URLは忘れてしまったが、オーストリア 留学 で検索してでてきたブログを参考にした。特に病院関係が不安だったので、とにかく思いつくワードをいれて検索して、病院のシステムや住所等を手帳にメモしておいた。
7-2 現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	あまり思いつかない。結局は大体何でも現地で買える。強いて言えばさばの缶詰・味噌汁・お箸・箸箸・圧縮袋はもっていったよかったと思える。
7-3 留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	自分の学業に対する姿勢や考え方を見つめなおす良いきっかけになった。また、自分より圧倒的にすごい人ばかりだったので、毎日が勉強で良い刺激がたくさんもらえたと思う。また、文化の違いは本当に痛感というレベルで感じる事ができた。グループワークはまさしく個のぶつかりあいで収集がつかないこともあった。それが個人的には最も身近な異文化理解・異文化交流になった。
語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( ibt 92 ) 点 → 帰国後:( 不明 ) 点
7-4 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	クレジットカードをスーパーのレジにさしっぱなしにしてしまったこと。結局すんなり返してもらったが本当に焦った。
7-5 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切でした。ありがとうございました。
7-6 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	個人的にはお薦めします。やはりまったく異なる文化の中で自分が異分子として生きる経験は、想像以上に未知の経験でした。自分を見つめなおす良い機会になったと感じています。けれどこれだけの長期の交換留学は、やはり準備も実行も大変なので、その点に関して大いにサポートして下さるこのプログラムがなければ留学はできなかったと思います。加えて、先輩からいただける情報にも非常に助けられました。総じて、興味をもっている人にはぜひお薦めしたいです。
7-7 留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	5
・全体として留学に係る費用は安かったかと思ひ、満足しましたか	2
・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
感想: 留学に関して、もし一言感想で述べるならば、「しんどかったけれど、やってよかった」。この一言に尽きると思います。留学で考えたこと、気付けたことは沢山あります。言葉にしてみれば月並みで当たり前のことで、留学前の自分に言ってみたら「それはそうでしょ」の一言で片づけてしまうかもしれません。それでもやっぱり、「考えてみたら当然そうだと思う」と、「実際に体験している」とは違うと思います。私の留学期間は、実感に駆り立てられるからこそ、自分の現状であったり、自分に足りないものが見えてきて焦った期間であったように思います。もともと私が留学をしたいと思ったのは、おおよっぱに言えば自分に一番向いていないことがしたかったからです。私は大学の四年間を、自分が誇れる自分になるための期間にできたらと考えていて、いくつかの点から、私にとって有効な手段は留学だという結論に行きつきました。つまり、そもそも留学はしんどいだろうと予想していたし、覚悟していました。だから予想通りにしんどかったはずなのに、それでも何度心も折れそうになりました。特につらかったのは、比べるものつらいほど留学先の同級生たちが優秀だったことです。グループワークで貢献できないこともありましたが、ただ圧倒されてどうしていいのかわからないときもありました。だけど結果としては、そんな人達と交流・協業できたことは、長い目で見れば+だったと思っています。自分が敵わないと思う人との出会いは、自分にとっての壁であると同時に新しい成長のきっかけなのかなと思うからです。「どういう人になりたいのか」そんな質問に答えるのは簡単かもしれないけれど、やっぱり脳内検索で引っかかるのは、自分が知っていて、心にひっかかっているような、そんな人だけだと私は思っています。なので、圧倒されてしまうほど、精神的にも学問的にも尊敬できる人達に会えたことに感謝したいと今も思っています。 <b>後輩の方へのメッセージ:</b> ここまでですごくネガティブなイメージを与えてしまっていたら、すみません。勿論楽しいこと・素敵なお会いも沢山あったこと、補足させてください。ただ先ほども申し上げた通り、私は一般的に言って留学向きの人間ではない(保守的・内向的・人前に入るのが苦手・個人主義)ので、しないほうがおそらく精神的には良いことを無理やりやった弊害でより苦しんでいたと思ってもらえればと思います。折角なのでここでは、自分に少し似ている人を想定してメッセージを送りたいと思います。自分の可能性を決めつけなくてあげてください。やろうとしてみても、できるだけのことを全部やってみて、それでも無理だったときにはじめて「私には縁がなかったのかな」と思うほうが良いと思います。例えば自分に向いていなくて90%不可能かもしれないけれども、挑戦してみれば、確かに10%、実現できる可能性があります。今逃した選択肢を、その後に取り戻すことは、きつとさらに難しくなっていくと思います。私は高校生までにそれを痛感していて、それを基に大学では「最初から決めつけない・諦めない」ことを大切にしようと決めました。その結果、同級生や先生方、周りの支えもあってどうにか目標だった留学にこぎつくことができました。しんどかったけれど、後悔は全くしていません。なのでぜひ皆さんも、留学に限らず、「やってみたい」と思うその気持ちをチャンス大切にしてください。私は模範的な留学生ではないかもしれないけれど、こんな人も留学できたんだと、誰かの背中を押すことができれば幸いです。	

## 9. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	<a href="mailto:kirakirpaink0108@gmail.com">kirakirpaink0108@gmail.com</a>

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Econometrics II	Jan Greve	2	6	英語	12~13	グループプロジェクト4つと期末試験で評価される。教授は優しいが内容は非常に難しく、Rも使うので、かなり時間を使う覚悟が必要。発展的な統計をRやEviewを使ってやっていった。予習でスライドを読んでも全く理解できなかったなので、授業中にメモを取ってそれを見ながら復習し、わからなければ先生に聞くのがおすすめ。
2	strategic business analytics and investment decisions	Markus Webnegg	3	6	英語	25	小テスト2つと期末試験、グループワークで評価される。幅広く色々な分野をカバーするので、わかりやすい。ただ各授業がスピーディーに進むので、練習問題を解きなおしておくの良いかもしれない。
3							
4							
5							
6							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

どちらの授業もR等のソフトの扱いに慣れている生徒が多い印象だった。特にeconometricsはやりこんでいる生徒が多く、授業中に出る質問もレベルが高くて内容を追うのが難しかった。成績評価は分散されている分とりやすかったと思う。どちらの先生も非常に優しく熱心だったので、口頭メールを問わず質問にはすぐに丁寧に返答してくれた。ひとつアドバイスをするのなら、econometricsをとることを考えているなら、前期でeconometrics1をとって、その次にeconometrics2を取ったほうが良いと思う。私は無理やり同時に取ろうとしたが無理だと悟って途中で取り消した。ひとつでもなかなかのボリュームなので、本当に分けて受けたほうが良いと個人的には思う。